

東浦町まちづくりワークショップ 第1回「東浦町の未来ビジョンを語ろう！」 開催記録

1 開催概要

- 日 時：平成 29 年 10 月 21 日（土） 午後 1 時 30 分から午後 4 時
- 場 所：東浦町文化センター 1 階ホール
- 参加者数：25 名（職員含む）
- 内 容：1. 開 会
2. あいさつ
3. 本日の予定について
4. 東浦町の現状と課題について
5. グループワーク
 テーマ『東浦町の未来ビジョンを語ろう！』
 ステップ1：「私が思う未来の東浦町！」
 ステップ2：「未来の東浦町に向けて！」
 ステップ3：「東浦町のキャッチコピー！」
 ステップ4：「発表」
6. 閉 会

2 開催の様子



3 グループワークの結果

テーマ『東浦町の未来ビジョンを語ろう！』

ステップ1 「私が思う未来の東浦町！」

ステップ2 「未来の東浦町に向けて！」

ステップ3 「東浦町のキャッチコピー！」

ステップ4 「発表」

■各グループのまとめ

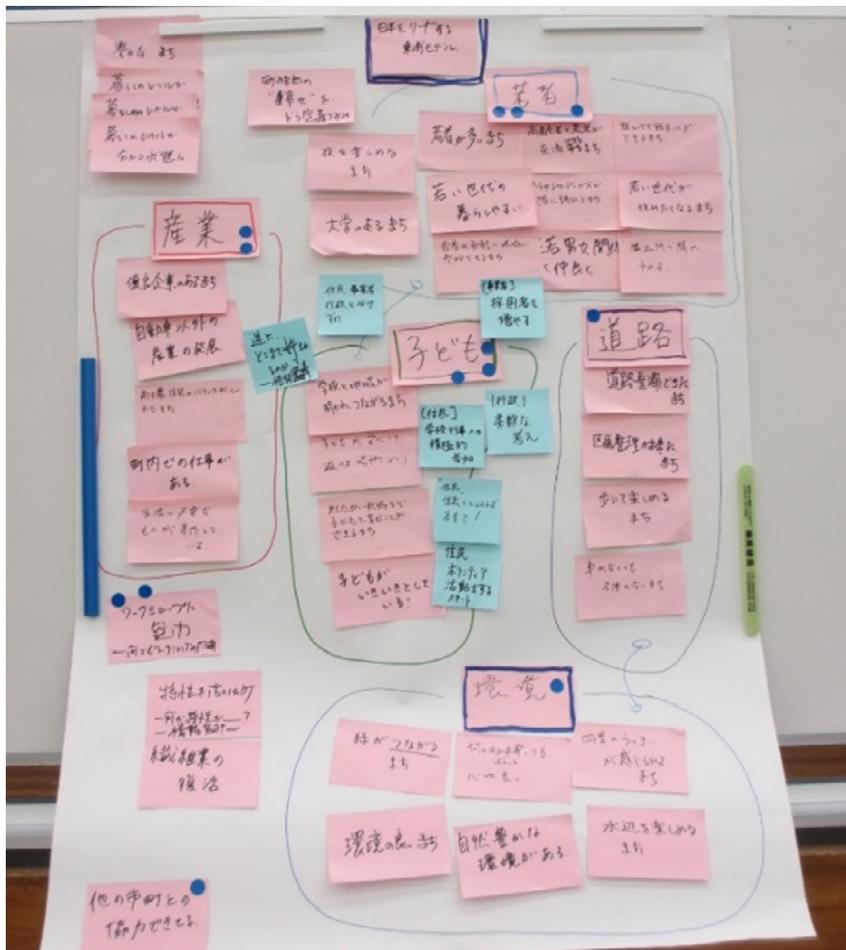
グループ1:

キャッチコピー「日本をリードする東浦モデル」

シール投票		分野	20年後の未来の東浦町	住民・事業者（団体）・行政が どのように関われるか ※シール投票で最も多かった分野について
順位	票数			
1位	3	子ども	<ul style="list-style-type: none"> ○学校と地域が開かれ、つながるまち ○子どもが安心して遊べる場所づくり ○あたたかい気持ちで子どもを育むことができるまち ○子どもがいきいきとしている！ 	住民 <ul style="list-style-type: none"> ○ボランティア活動をするスタート ○体裁にとらわれず本音で！ ○学校行事への積極的参加 事業者 <ul style="list-style-type: none"> ○採用者を増やす 行政 <ul style="list-style-type: none"> ○柔軟な考え その他 <ul style="list-style-type: none"> ○逆に、どこまで許されるのか ○情報不足 ○住民・事業者・行政と分けずに
2位	3	若者	<ul style="list-style-type: none"> ○若者が多いまち ○高齢者と若者が交流できるまち ○誰とでも話すことができるまち ○夜を楽しめるまち ○大学のあるまち ○若い世代の暮らしやすい ○あらゆる世代の方が一緒に語れるまち ○若い世代が住みたくなるまち ○若者が気軽に地域に参加できるまち ○老若男女関係なく仲良く ○隣近所の顔がわかる 	
3位	2	産業	<ul style="list-style-type: none"> ○優良企業のあるまち ○自動車以外の産業の発展 ○商工農住宅のバランスがとれたまち ○町内での仕事がある ○生活に必要なものが集約している 	

シール投票		分野	20年後の未来の東浦町	住民・事業者（団体）・行政が どのように関われるか ※シール投票で最も多かった分野について
順位	票数			
4位	1	環境	<ul style="list-style-type: none"> ○緑がつながるまち ○何となくふらっと立ち寄っても心地よい ○四季のうつろいが感じられるまち ○環境の良いまち ○自然豊かな環境がある ○水辺を楽しめるまち 	
4位	1	道路	<ul style="list-style-type: none"> ○道路整備できたまち ○区画整理が出来たまち ○歩いて楽しめるまち ○車がなくても不便のないまち 	
※	3	その他	<ul style="list-style-type: none"> ○町独自の“幸せ”をどう定義づけるか ○ワークショップに疑問 何でもワークショップの風潮 ○特性を活かした町 何が特性か 情報分析 ○繊維業の復活 ○他の市町との協力できている 	

※その他意見のため順位としてはカウントせず

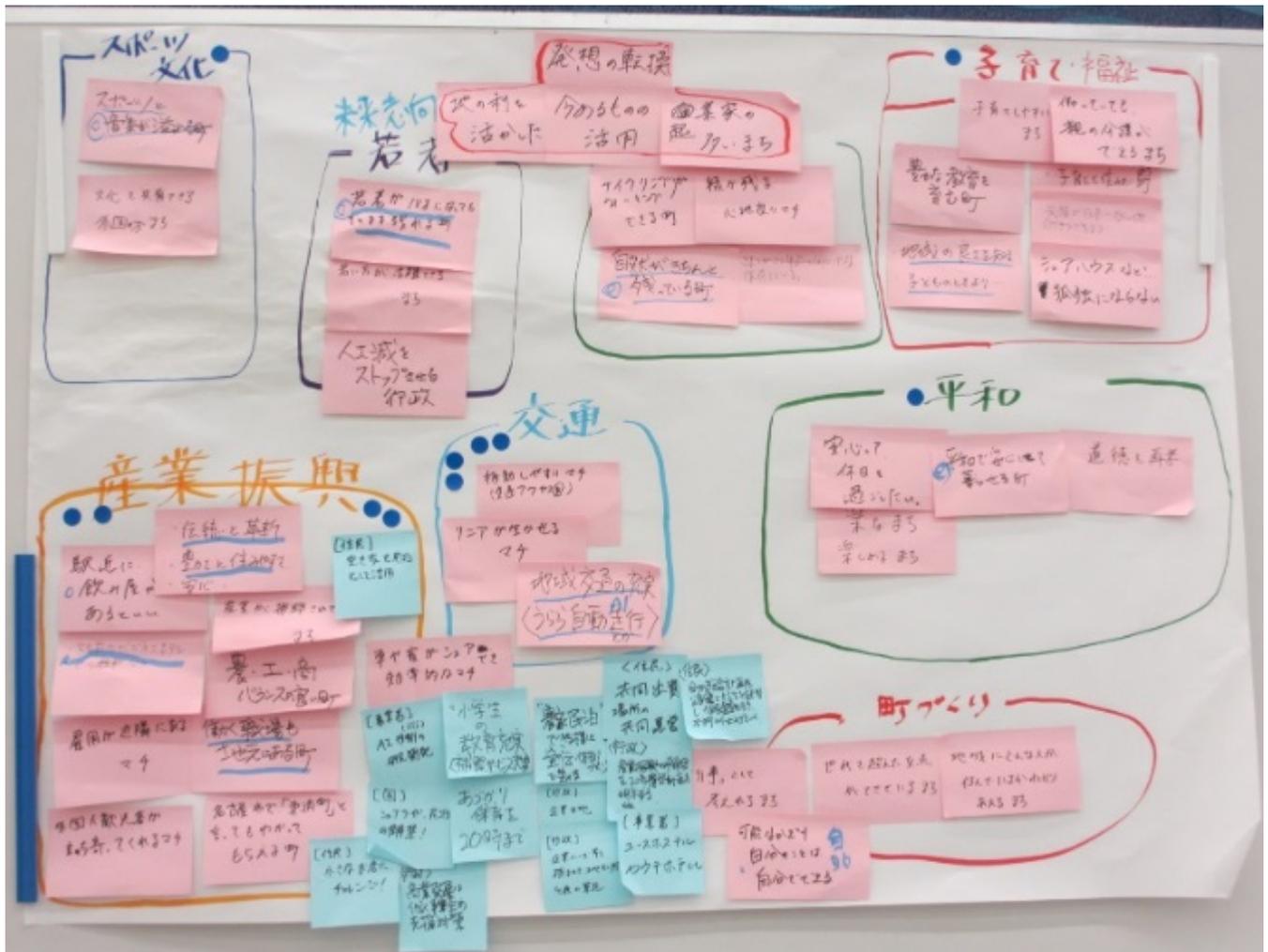


グループ2:

キャッチコピー『発想の転換地の利を活かした今あるものの活用起業家の多いまち』

シール投票		分野	20年後の未来の東浦町	住民・事業者（団体）・行政が どのように関われるか ※シール投票で最も多かった分野について
順位	票数			
1位	4	産業振興	<ul style="list-style-type: none"> ○ 駅近に飲み屋があるといい ○ 駅前にビジネスホテルが5つ ○ 雇用が近隣にあるマチ ○ 外国人観光客が立ち寄ってくれるマチ ○ 伝統と革新 ○ 豊かさで住みやすさ ○ 安心 ○ 産業が振興されているまち ○ 農・工・商 バランスの良い町 ○ 働く職場も地元にある町 ○ 名古屋で「東浦町」と言ってもわかってもらえる町 	<p>住民</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 空き家を民泊として活用 ○ 小さなお店にチャレンジ! ○ 共同出資場所の共同運営 ○ 町の総合計画を公民館でも話を説明し、住民意見も聞き、本物に仕上げていく <p>事業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ AI 技術の研究開発 (うらら) ○ ユースホステル、カウチホテル <p>行政</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ シェアライド、民泊の解禁! ○ 商業発展は個人事業主の支援対策 ○ 小学生の教育充実 (補習サービス充実) ○ あずかり保育を20時まで ○ “農家民泊”できる様に宣伝・体制づくりを進める ○ 企業立地 ○ 企業ニーズ等を踏まえた土地利用計画の策定 ○ 産業振興の将来図を20年構想計画として明示する
2位	4	交通	<ul style="list-style-type: none"> ○ 移動しやすいマチ (交通アクセス) ○ リニアが活かせるマチ ○ 地域交通の充実 ○ うらら自動走行とか (AI) ○ 車や家がシェアでき効率的なマチ 	
3位	1	子育て・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子育てしやすいまち ○ 豊かな教育を育む町 ○ 地域の良さを知る ○ 子どものときより... ○ 働いていても親の介護ができるまち ○ 子育てで住みたい町 ○ 笑顔が日本一多い街 (アイサツできる) ○ シェアハウスなど...孤独にならない 	
3位	1	平和	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安心して休日を過ごしたい ○ 楽なまち楽しめるまち ○ 平和で安心して暮らせる町 ○ 道徳を再考 	
3位	1	スポーツ・文化	<ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツと音楽が溢れる町 ○ 文化を共有できるまち 外国の方 	
		まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自分事」として考えられるまち 	

シール投票		分野	20年後の未来の東浦町	住民・事業者（団体）・行政が どのように関われるか ※シール投票で最も多かった分野について
順位	票数			
			<ul style="list-style-type: none"> ○可能なかぎり自分のことは自分でできる（自助） ○世代を超えた交流ができているまち ○地域にどんな人が住んでいるかわかりあえるまち 	
		自然	<ul style="list-style-type: none"> ○サイクリング・ウォーキングができる町 ○自然がきちんと残っている町 ○緑が残る心地よいマチ ○緑が20年前と同じ面積保有している 	
		未来志向・若者	<ul style="list-style-type: none"> ○若者が18才になってもそのまま残れる町 ○若い方が活躍できるまち ○人口減をストップさせる行政 	



グループ3:

キャッチコピー「多様化していく人を受け入れるまち」

シール投票		分野	20年後の未来の東浦町	住民・事業者（団体）・行政が どのように関われるか ※シール投票で最も多かった分野について
順位	票数			
1位	3	多文化 多様性	<ul style="list-style-type: none"> ○多文化を受け入れる地域社会 ○外国人が全体の5%以上になる ○多様な価値観が共存できる町 	<p>住民</p> <ul style="list-style-type: none"> ○（多文化へ）教育行政に参加 ○音楽イベント開催し文化交流 ○外国人コミュニティと日本人コミュニティの隔たりをなくす ○認め合う。受け入れる。 ○ボランティア等で関わりを多く持ち関心をもつ ○外国語の勉強 <p>行政</p> <ul style="list-style-type: none"> ○通訳の充実 ○国際交流協会設立 ○条例を整える ○外国語の表示（案内など） ○外国人だけを対象にした町づくりワークショップ <p>住民・行政</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本文化をわかりやすく外国の方へ伝える ○外国の方 異文化との交流を促進する ○日本語教室の開催 ○日本語教育の充実（ボランティア含む）
2位	2	コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもから老人まで安心して暮らせる町 ○隣組の顔がみえる協力しあえるまち ○誰とでも挨拶ができ、心通う町 ○地域コミュニティが前向きで元気なまち ○住民みんなが自分事としてまちづくりに参加できたら… 	<p>住民</p> <ul style="list-style-type: none"> ○行事に積極的参加
2位	2	自然・景観	<ul style="list-style-type: none"> ○景観を保全していく（荒地・空き家） ○自然豊かで元気な町 ○自然が多く残るまち ○自然保全ゾーン（農地の保全とは別） 	
2位	2	若者	<ul style="list-style-type: none"> ○若者が活躍し易い町づくり ○若者の意見が積極的に社会に反映されていく町 ○学生が活躍する社会 	
5位	1	高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者が知識・経験を生かせる場をつくる ○生涯現役の環境づくり ○人口が4万人 ○超高齢化、逆に高齢者向きのまち ○高齢者と若者 ○血縁と関係なくシェアハウスできる家をつくる 	

グループ4:

キャッチコピー「グリーングリーンタウン」(グループ名:クローバー)

シール投票		分野	20年後の未来の東浦町	住民・事業者(団体)・行政が どのように関われるか ※シール投票で最も多かった分野について
順位	票数			
1位	3	自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ○緑あふれる東浦 子どもも大人も皆 きれいな空気で健康に ○自然、緑が多い野山 ○緑があふれる町 生き物にあふれる 	<p>住民</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人口×10本の木が残る町 <p>事業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ○住民や自治会の理解を得られない開 発しない ○CSRの呼び込み <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公園充実化をする ○住民が公園の草やゴミを取る ○ゴミ収集場整備 ○町が山などある程度買って緑が急に 減るのを防ぐ ○地域ごとに守られる緑をつくってほ しい
2位	2	子育て	<ul style="list-style-type: none"> ○子育てがしやすい町 ○子どもの声になりひびく町 ○子どもを育てやすい町 仕事をする 両親 ○子育ての援助 ○遊びながら学べる ○子育てしやすい町 ○給食がない日も給食(食堂) 共働き 夫婦が多い ○保育園でも夜の給食 ○親を教育 	
2位	2	交流	<ul style="list-style-type: none"> ○近所の助け合い ○一人ぼっちにならないサポートがあ る ○趣味を持つ ○隣の住民だけでなく地域みんなが友 人の町 ○住民間の交流がしやすい環境 ○屋外での交流 子どもだけでなく高 齢者も ○種々のサークルへ参加出席 	
2位	2	アクセス	<ul style="list-style-type: none"> ○歩道が充分にある町 ○交通が便利な町 ○交通事故のない町 ○運転できない方のサポート(バスもあ るが大変とのこと) ○バスと電車が連携して便利に(通勤・ 通院) 	

4 参加者アンケートの結果（19名より回収）

問1 本ワークショップを知ったきっかけ（当てはまるもの1つに○）

選択肢	件数
募集案内チラシ	3
広報	8
東浦町ホームページ	5
SNS	0
友人・知り合いなどから聞いた(誘われた)	1
その他	2

問2 本ワークショップの満足度についてお選びください。（当てはまるもの1つに○）

選択肢	件数
大変満足	5
満足	13
不満	1
大変不満	0

問2-1（問2で1・2と回答した方）満足した理由【当てはまるものすべてに○】

選択肢	件数
時間が適切だった	7
作業の内容が適切だった	3
今後のまちづくりを考えるよい機会となった	12
資料等がわかりやすかった	4
その他	2

問2-2（問2で3・4と回答した方）満足しなかった理由【当てはまるものすべてに○】

選択肢	件数
時間が足りなかった	0
作業の程度が高すぎた	0
今後のまちづくりについて考えにくかった	0
資料等がわかりにくかった	0
その他	1

その他の意見
・時間配分の目安を最初に示してほしい

問4 その他、ワークショップ全般に関する感想・ご意見をご記入ください。

東浦町の未来ビジョンを考えるうえで、もう少し20年後の姿がどうなるか話し合う時間があればよいと思った。
行政側の提案として話題になった企業や業務誘致の「特区扱い」の方策についても情報を参加者に提示して頂くとおもしろいものが出てくるのでは？
ワークショップ形式で進めていけたこと、まちづくりを考える貴重な体験が出来ました。
お茶が2ヶ所でこぼれていた。お茶はペットボトルがよいのでは？
町職員がチームに混じっていたのもよかった。
まちづくりという幅広い分野にまたがっているので、なかなか難しかったが、楽しくワークショップができてよかった。
グループ分けを事前にやるとよいと思う(年齢 or 職業など)。答えにかたよりがでてしまうと思う。
視点をもう少し絞ってもよかった。例:町が困っていること(今後?)などもテーマに挙げてよいかも。
このようなワークショップを開いて下さりありがとうございます。
有意義なワークショップで大変よかったです。
今日は様々な意見が聞けて非常に有意義なものでした。第2回も出席させていただきます。
有意義な時間をすごさせていただきました。